

POPOLA

ぽぽらだより

TAKE FREE

ご自由にお取りください

まちのことを、はじめる場所。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行する、まちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部は、まちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

発行元 春日部市市民活動センター
（指定管理者：㈱コンベンションリンクージ）
年4回発行（3月、6月、9月、12月）

2021.9

vol. 39

特集！

○「ぽぽらフェスティバル2021」実行委員会進捗報告！
○春日部の自然環境を守る登録団体の活動に注目！

【ミヤマガラス】冬鳥として飛来。警戒心が強く、広いたんぼに大きな群れでいることが多い。旧谷原中学校の校庭に飛来した時に撮影。（写真提供：埼玉県生態系保護協会 春日部支部）

【オグルマ】埼玉県レッドデータ記載の準絶滅危惧種。写真はウイング・ハット春日部東側の谷原親水広場。（写真提供：埼玉県生態系保護協会 春日部支部）

実行委員会で決まったよ！

10周年開催テーマ

市民活動でつくる 持続可能な地域社会

— 12月4・5日開催予定 —

ぼぼらフェスティバル2021
実行委員会 委員の皆さん

新井恵美さん（春日部おやこ劇場）
金成悦子さん（学校図書館を考える会・春日部）
戸枝弘朗さん（SA 春日部グループ）
中川俊廣さん（いきがい大学春日部学園第23期校友会）
水野順一さん（健康クラブ）
山口英治さん（健康クラブ）
吉田徳志さん（春日部まちづくり応援団）
吉田理子さん（一般社団法人S-net サポーターズ） ※五十音順
ぼぼら春日部事務局スタッフ



第1回
7/5,6

公募で集まった委員の皆さんの自己紹介から始まって、実行委員会のあり方や事務局の役割、ぼぼらフェスティバルへの想いをそれぞれ共有しました。いざ、キックオフ！！



第2回
8/2

実行委員会の役員を選出。イベントのコンセプトを練り上げつつ、開催に向けたスケジュールや企画のたたき台を確認。メーリングリストも活用しています！



第3回
8/30

広報への掲載内容を中心に意見交換。コロナ禍での10周年という困難な節目をどんなフェスティバルにするべきか？さまざまな想いを胸にゴールを目指します！



第4回
9/14

イベントの開催内容について検討。「シンポジウム」、「動画」、「展示」、「実演」の4つを軸に議論を深めました。熱い思いがどのように結実するのか、期待が高まります！

「実行委員会」の活動そのものが「市民活動」

— 10周年という節目にどんな思いを持っていますか？

10年前はボランティアをするための「活動」を探ることから始めましたが、10年を経て市民活動とは「(理念的に) やろうと思って始めるものではなく、目の前の課題を解決するために自然と考え動く」ものだと理解しています。

実行委員会にはいろいろな世代、立場の方が関わりますし、フェスティバルを作り上げていくことにはたくさんの課題もあるでしょう。でも、その過程に関わり、皆で作りに上げていくことそのものが10周年の市民活動になっていくと思っています。

— コロナ禍で市民活動に思うこと

コロナで急変した今のような世の中では一度立ち止まって自分たちの活動に視点を「増やす」ことが必要なんじゃないかと思っています。例えば学校ボランティアの活動でも、学校教育の問題からはじまり、不登校の間

実行委員長に選出された吉田理子さん
に話を伺いました



題、家庭の問題、DV、貧困、外国人支援...等、自分たちが掲げている問題が結果的に他の問題とも関わらざるを得なくなる。地域の問題は複雑に絡み合っている。「うちの活動はこれだけです」とは言えないようになってきている。だからこそ、自分が活動することと同時に、視点を増やして他の誰かのことをちょっと考える、そんな社会になったらいいと思っています。

市民活動によって誰かが生きやすい社会になれば、それはみんなが生きやすい社会につながると思います。

NPO法人 庄和ふる里を守る会 市民の憩いの場を守って、つくる

「NPO法人庄和ふる里を守る会」の活動は、平成17年に庄和地区市民大学のメンバーで始めたボランティア活動が始まりだ。社会的な信用を得ることで活動しやすい環境をつくり、かつ持続的な活動にしていきたいと思います。平成28年にNPO法人化。現在も庄和道の駅さくら公園（農村公園）や中庄内桜並木の環境保全活動（清掃、除草、花植え等）に加え、花植えイベントや自然観察等を通じた地域住民とのコミュニケーション活動を行っている。

3km以上に連なる桜並木の沿道には、散策する市民のために20数台のベンチを設置。これはイオンモール春日部の「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン※」で得た

贈呈カードで購入しており、同団体が毎月行っている店頭でのPR活動の成果だ（現在はコロナの影響により休止）。

同団体は会員の7割が庄和地区市民大学の卒業生や現役生。賛助会員には商工会や地元の企業だけではなく自治会も入っており、まさに地域の輪が団体の活動を支えている。住み続けたいと思う環境づくりを地域のパートナーシップで支える意味はとても大きい。

同団体では最近会員同士の交流や親睦を目的に無料の朝市を始めたそうだ。「ボランティア活動を維持していくには「活動」だけではなく、活動以外にも皆が「来て良かった」と思えるような楽しさが大切」を



モットーにしている。そんな機会を考へることもボランティア活動を続ける魅力の一つなのかもしれない。

※毎月11日に発行される黄色いレシートの合計額の1%の品物をイオンのお客様の投票で地域のボランティア団体に寄付する取り組み



NPO法人庄和ふる里を守る会
【連絡先】 km9cc9@bma.biglobe.ne.jp

埼玉県生態系保護協会 春日部支部

生物の多様性を重視する自然保護活動

「埼玉県生態系保護協会 春日部支部」は、「生き物のつながり（＝生態系）」を大切に自然保護団体だ。同団体支部長の三好あき子さんは「自然の大切さを伝え、自然が好きな人を増やしたい」と話す。

活動は毎月古利根川の自然観察会やゴミ拾いを開催している他、ビオトープ※として整備されたウイング・ハット春日部の親水広場の管理（自然観察や草刈）等を行っている。

ビオトープでは水辺の植物等の絶滅危惧種を移植・保護し、春日部の自然を再現。昔は沼地であった春日部の土地を自然から学び体験することは防災意識を高めることにもつながっている。

虫を見るときか、植物に触れるとか、子どもときの「ちょっとした体験」が自然に興味を持つきっかけになる。同団体が市内の小学4年生向けに行っている出張授業は、教室



から出て校庭で自然と接する環境学習だ。生き物の多様性を認め、自然のつながりの大切さを子どもたちに伝える貴重な機会となっている。

都市開発によって特に水辺の生物の生息地が奪われている。便利で豊かな生活も大切だが、いかに自然と共存して、未来に自然を引き継いでいくのかを考えていく必要がある。

※生き物が暮らす場所。ギリシア語のbio（生命）と topos（場所）が組み合わさった造語。

埼玉県生態系保護協会 春日部支部
【連絡先】 a-hill-m@nifty.com
【HP】 http://eco-kasukabe.a.la9.jp/



今から始めるSNS活用講座

セミナー

ホウコク

フェイスブック・インスタグラムの発信のコツ

もっと多くの方に来てほしい、若い世代にも活動を知ってほしい！と多くの団体が思っています。今回は SNS を活用した情報発信を学ぶ講座（6月26日）を開催。小渕で「KIKI BASE」を運営している福島貴代さんに講師を務めていただきました。福島さんはさまざまな活動を SNS を活用して上手に広報しています。Facebook や Instagram などの特徴を解説してもらい、参加者は写真やコメントの「投稿」にチャレンジ。多くの人に見てもらえる可能性を高めるための、ちょっとしたコツを伝授してもらいました。参加者からは「はじめるきっかけができた」「もっと写真を工夫したい」といった前向きな感想も。ぼぼら春日部では SNS の活用についても相談を受け付けていますので、この機会に若い世代の利用が多い SNS にもチャレンジしてみましょう！



ポシユウ

第3回 利用者会議 & ぼぼらフェスティバル2021説明会

要予約

場所:春日部市市民活動センター 会議室1・2(4階)

参加人数:現地最大30名まで / オンライン参加可

10/5 (火) 10:00 - 12:00 10/9 (土) 14:00 - 16:00

感染症対策のため開催日を2日間に分けて開催します。通常の見聞交流会に加え、今回は12/4～5に開催予定の開所10周年「ぼぼらフェスティバル2021」について、実行委員会からイベント内容の説明があります。参加を検討されている団体の皆様はぜひご出席ください。



新規登録団体情報

オシラセ

新規に登録された団体さんをご紹介します。センターにはたくさんの市民活動団体が登録されています。団体同士の交流やマッチングを希望される方はいつでもセンター窓口にお問い合わせください。

- 埼玉女性管理職の会
- NPO 法人 GP 農法推進プロジェクト
- 公益社団法人自彊術普及会春日部北支部「自彊術ふれあい教室」
- 春日部市中央一丁目地区 A 街区まちづくり推進協議会（順不同）



オシラセ

でーん

ぼぼら春日部の新しい仲間をご紹介します

窓口で見かけたら紹介文をネタに話しかけてくださいね。新しい仲間とともに職員一同がんばっていきます！



江川香織 (えがわ かおり)

三国志大好き歴女です。早く仕事を覚えて、春日部市の市民団体の皆様のお役に立てればと思っております。



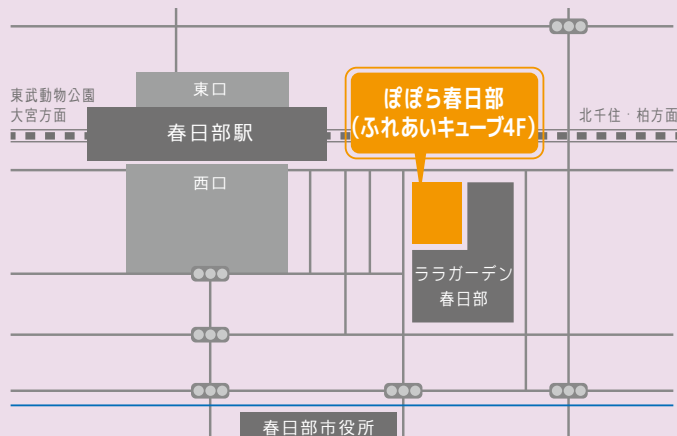
高城信康 (たかぎのぶやす)

春日部に移り住みは35年、笑顔と真面目とお人好みな仕事人間です。どうぞよろしくお願いたします。



狩野知子 (かのう ともこ)

春日部生まれ、春日部育ち。楽しくお仕事をさせていただいています。スポーツ観戦、映画鑑賞、ビールが大好き。



※東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩5分。
※駐車場(有料)は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから

048-731-3550

popola@kasukabehall.jp

春日部市市民活動センター (ぼぼら春日部)

年中無休(年末年始を除く) 9:00 ~ 21:30

TEL 048-731-3550 FAX 048-734-1605

〒344-8578 埼玉県春日部市南1-1-7 ふれあいキューブ4階

HP



※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。登録には窓口でのヒアリング及び登録申請書、団体の規約、名簿、活動実績等の資料の提出が必要となります。詳しくは上記窓口にお問い合わせください。

※交流・ミーティングスペース、キッズスペースなどは、団体登録なしにどなたでも自由にご利用いただけます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部利用を制限している場合があります。